

「阿南市立新図書館基本計画」(案)に関するパブリックコメントの実施結果について

「阿南市立新図書館基本計画」(案)に関するパブリックコメントの募集にご協力いただき、ありがとうございました。提出された意見とそれに対する市の意見を以下のとおり整理いたしました。

提出意見の内容は、提出者以外の市民の方にも理解しやすいように、内容の一部に加筆を行っているものがあります。また、関係した内容をまとめるため、いただいた意見を分割して整理し、内容ごとに回答しております。

たくさんのご意見をいただきましたが、今回は「阿南市立新図書館基本計画」(案)(以下、「本計画(案)」と表記します。)に対してご意見を募集したものであるため、回答につきましては、原則として本計画(案)に対するご意見に限らせていただきます。その他のご意見につきましては、今後の図書館運営の参考とさせていただきます。また、他課に係る提案やご意見につきましては、担当課に参考送付させていただきます。

1 実施期間 令和5年8月15日～9月5日

2 募集結果 (1) 意見提出者 18名
(窓口持参5名 電子メール13名)
※実施要領を満たさず不受理となったもの1名
(2) 意見件数 111件

3 提出された意見と市の考え方

1.建設関係

番号	項目	意見の内容	市の考え方
1	建設方針	「阿南市立新図書館基本計画(案)」が、駅周辺整備ありきで進行していることは明白だ。しかしこのアプローチは、図書館を単なるまちづくりの付属品と見なし、その本質的な役割を曖昧にしていると感じる。「公共空間の有効活用と駅周辺のにぎわい創出」、「図書館がまちづくりの核として」などの考え方は、図書館の本来の使命とは関係が薄く、純粋な図書館サービスの提供に焦点を当てているとは言い難い。このような動機からは、最適な図書館の実現が難しいのではないかと考える。「阿南駅周辺まちづくりビジョン」に図書館を組み込むこと自体が、図書館の使命や役割に反するものと捉えざるを得ない。駅周辺整備とは完全に切り離すべきである。(E氏)	
2	建設場所	阿南図書館は市を特筆する文化と親和性の高い地に再建すべきであり、そしてそれが阿南駅周辺部や富岡地区でなければならない必要性がどのように生じたのか、明確に理解することができません。(E氏)	
3	建設場所	阿南図書館を富岡地区に再建すると、羽ノ浦図書館や那賀川図書館と合わせて阿南市北部に3つの図書館が集中し、市内の地域バランスが著しく崩れます。富岡地区は羽ノ浦地区や那賀川地区の近隣であり、この状況であっても富岡地区住民が不便だと主張したり、「市の中心部として必要」など見栄のような理由で正当化することは贅沢に過ぎる。市南部の理解が得られない。(E氏)	
4	建設場所	阿南図書館は市南部に再建せよ 「阿南市立新図書館基本計画(案)」への疑義 ●駅周辺整備とは独立して検討すべき課題であり、基本理念が抽象的だ。 ●富岡中心の重要性は薄れ、内陸部の貢献に焦点を移す必要がある。 ●富岡の図書館ニーズが高く出る調査結果には注意が必要。 ●富岡中心路線に光産業の源流地区が本当に同意しているか疑問である。 ●3図書館の市北部偏在、富岡地区の交通拠点性低下、他事業との整合性に疑問。 ●上位機関の国も認める価値を備え、図書館の取扱いでも大きい存在感が見込まれる「世界遺産」への対応がみられない。 ●四国遍路や光産業と調和する場所に再建が必要である。 これらを総合的に考慮すると、富岡地区での再建を見直し、市南部での再建が適切だ。(E氏)	本計画(案)では、新図書館を阿南市の新たな中央図書館と位置づけ、図書館の基本的なサービスの充実について基本方針を定め、そのうえで、「にぎわい・交流を生み出す中心施設」として図書館が持つ情報資源やネットワークを活用し、地域の魅力や特色を発信することで、阿南駅周辺エリアの活性化にも貢献することとしています。 一方、まちづくりの視点からは、新たな図書館がこれからのまちづくりの核となるものとして捉え、駅周辺のまちづくりと新図書館の相乗効果によりさらなる賑わいを生み出すことを前提として「阿南駅周辺まちづくり基本計画」を検討しています。
5	建設場所	現在の羽ノ浦と那賀川の2つの図書館が市北部にあることを考慮すると、富岡に新館を建てる必要はあまりないように思います。代わりに、阿南高専周辺に1館、市南西部をカバーする新野駅近くに1館を設けることを提案します。これにより4つの図書館が阿南市全域に図書館の利用を広げ、市民の教育や学びの機会を一層増やすことができるでしょう。この場合、蔵書については各館ともに20万冊ほどの本が必要だと考えます。(M氏)	
6	建設場所	市内の商店街が衰退している現状をどのように改善するかが心配です。駅周辺にこだわらず、新図書館を中心に地域の活性化を図る計画が必要です。(M氏)	
7	建設場所	幹線道路から離れた立地で、人々を呼び込む方法が不明瞭です。アクセスの改善策を検討し、市民にとって便利な場所に新図書館を配置するべきです。(M氏)	
8	建設場所	現プラン通りに図書館を建設すると、どのようなメリットが生まれるのかが明確でないように感じますこの立地に新図書館を建設するメリットはどのようなものか、もっと具体的なかつ詳細な情報とその裏付けとなるデータが必要です。(M氏)	
9	建設場所	将来的に富岡地区以南の人口が減る中で中央公民館の機能を富岡地区に配置することについて委員会として明確な理由を示すべきではないでしょうか。(P氏)	

10	防災	図書館は他地域に建てるのがベストです。もしここに建てるなら、公的施設2階以上は緊急避難所としての機能を発揮すべき一定の空間が必要です。同時に最低2階以上に図書館機能を置くべきですから、「グループ利用」のスペースを2階部分にたくさん置く余地はないと思います。(N氏)	
11	防災	全体に防災に関する意識が欠如しているように思います。対象地は津波被害だけでなく、多大な洪水被害も予測されています。堤防破堤時の浸水時間は非常に短く、多数の人がこの場所を利用する事に対して、計画の時点から安全対策などを考慮するべきと考えます。中心市街地のまちづくりのためには、防災の視点を持つことが重要と考えます。低層階の建築を検討していることは問題を増やすことにつながると考えます。(P氏)	「阿南駅周辺まちづくり基本計画」(素案)では、阿南駅周辺の限られたエリアでのまちづくりの基本計画であり、ご意見のとおり防災に関する検討は十分でない状況にあります。今回いただいたご意見を踏まえて、防災減災に取り組むことをまちづくりの課題ととらえ、今後検討する建物の設計等でもその取り組みを反映してまいります。
12	防災	新しい図書館には、文化交流の場としてだけでなく、防災の面からも大切な建物になってほしいと思っています。津波が起こった場合、市役所より海側のほとんどの住民は、(富岡小学校)、富岡東高校、ひまわり会館、市役所に避難してきます。全く足りていません。現状のままだと、避難は早い者勝ちになってしまいます。4階以上の建物だとおしゃれではないかもしれませんが、せつかく新しく建設するのですから、命を救う拠点になってほしいと、強く思います。(Q氏)	
13	交通	図書館前のバス停設置。※最寄り駅とのシャトルバスでも可。(I氏)	
14	駐車場	「駐車場を広くしてほしい」という声が表1-14図書館に関する要望にあるように、アクセスしやすい駐車場を望む声は多い。阿南駅周辺まちづくり基本計画(素案)の10ページでは、図書館で重視する点として「駐車台数が多く停めやすい環境」、「車でのアクセスのしやすさ」の割合が高いことが挙げられている。だが、新図書館の整備によりある程度の駐車場スペースをとってしまうと、蔵書スペース等が小規模の中途半端なものになって、蔵書の充実が実現しないことになる。阿南市立新図書館基本計画(案)の27ページでは、「十分な資料保存スペースが必要です。」との記述がある。確かに駐車場よりも図書館として必要なスペースの確保を優先するべきなので、近隣にある当該空き地(以下の土地:阿南市富岡町今福寺21-1)を職員駐車場や第二駐車場用地として確保すべきである。新図書館を市民会館跡地に建設した場合、新図書館やひまわり開館の職員用の駐車場が不足すると思われるので、当該空き地を職員用の駐車場にしてはどうか。(B氏)	「阿南駅周辺まちづくり基本計画」策定にあたり実施した市民アンケートにおいて、「駐車台数が多く停めやすい環境が重視されている」ことを望む意見が多く寄せられていることから、新図書館複合施設における駐車場の確保につきまちは、施設の建設場所・敷地内の配置・施設の必要面積等とともに検討してまいります。
15	駐車場	広大な駐車スペースが新図書館周辺に設けられるか不明です。十分な駐車場を確保し、利用者の利便性を向上させられる広い空間を確保すべきです。(M氏)	
16	設計	屋上等は太陽光発電パネル等(最近壁などに設置でき、曇りでも発電効率の高いものがある)により使用する電気を賄うとSDGsに対応できる。LEDは地元の有力企業の日亜化学の製品を使うのが望ましい。(B氏)	
17	設計	太陽光発電、ZEH型の建物とし、環境負荷軽減かつ光熱費用の負担軽減を図る施設とすることを願う。(I氏)	
18	設計	地下シェルター、高層化、備蓄庫、駐車場、駐輪場(屋根付、太陽光発電、蓄電池など防災拠点としての設計、運営願う。(I氏)	
19	設計	持続可能なエネルギーの使用法としてnZEBに準拠し、高い耐震性と世界基準の低冷暖房負荷を実現し、環境にも配慮した建築を目指しましょう。よくある退屈な四角いビル建築では、未来の文化遺産にはなり得ません。(M氏)	
20	設計	デザインは東京「角川武蔵野ミュージアム」、大阪「こどもの森中之島」のような蔵書自体をインテリアデザインとして楽しめる図書館であってほしい。地域の中核施設として自慢できるものが阿南市にも欲しい。なお、建物要素、インテリア、ラックなど徳島県の森林材を生かした木を存分に使用していただきたい。ただし、むだにデザイン化して費用がかさむことのないよう、建物自体は、シンプルな四角い作りでよいと思う。また、羽ノ浦図書館は中庭を眺められる造りになっており、和みのいい空間となっている。ぜひ新図書館にも中庭(グリーン)を眺められる造りとしてほしい。ピオトープを取り入れるとさらによい。(I氏)	
21	設計	新しい図書館の建築において県内の木材を豊富に活用し、日本有数の木材建築文化遺産を築くべきだと考えています。また、阿南市特産の竹を用いてファサードや壁面に独自のアイデアを取り入れることで、地域らしい特徴を際立たせましょう。外観は誰が見ても「これは凄い！」と感じるようなものであるべきです。(M氏)	
22	設計	エントランスから入った瞬間、明るく広い空間が市民を出迎えるべきです。カフェの近くでのくつろぎ、静かな読書スペース、クリエイティブな活動を支える部屋、そしてたくさんの本が並ぶスペースがあるでしょう。ここに来れば何度でも楽しめる素晴らしい時間が過ごせるはずです。そして照明はLEDを使用し、自然光も最大限に活用してリラックスした雰囲気を提供します。(M氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を今後の施設の設計等において参考とさせていただきます。
23	設計	図書館周辺の空間についても考えてほしいことがあります。私たちの町には緑地が不足しています。建物周辺にはもっと植樹が必要ですし、広い芝生広場も必要です。日の光を感じながら寝転がれる場所もほしいですし、ピクニックやキャンプが楽しめる公園も欠かせません。また、子供たちが自由に遊べるスペースも必要です。彼らが駆け回れる場所があると、家族と楽しい時間を過ごせるでしょう。(M氏)	
24	設計	新しい図書館を「阿南市民が誇りに思える文化遺産としての建築物」として位置づけたいと考えています。阿南市民が誇りを感じ、他の市民に自慢したくなるような素晴らしい文化遺産を提供すべきです。私の提案は、世界でも高く評価されているフィンランドのヘルシンキ図書館「Oodi」からインスピレーションを得たものです。Oodiのデザイン、コンセプト、文化遺産価値、利便性、美しさなど、高次元で模倣し取り入れてほしいと思っています。Oodiの魅力は多岐にわたりますが、フロアごとの特徴をご紹介します。1階には広々としたロビー、公共施設、イベント会場、図書館サービス、カフェなどがあり、居心地の良い雰囲気が漂っています。2階は仕事や活動、学習、交流、友人や家族との時間を過ごすことに特化し、アクティブな市民のニーズを満たすための部屋が充実しています。スタジオ、ゲームルーム、作業や会議スペース、都市型ワークショップ、講座や交流のための施設が含まれており、多彩な活動に対応しています。3階は10万冊の本が並び、読書のオアシスとなっています。このようなOodiの素晴らしい要素を取り入れることで、新しい図書館が市民にとって魅力的で、誇りに思える文化遺産となるでしょう。(M氏)	

25	設計	<p>アンケート調査から得られたデータ</p> <ol style="list-style-type: none"> 過去3年の図書館利用率:50%が無利用、15%が年に1回以上利用 利用者の要望:1人でゆっくり過ごしたい、読みたい本を置いてほしい、無料Wi-Fiを利用したい、飲食・会話がしたい。 需要の高い本:趣味や学びに関する本が需要が高い。 <p>これらの情報から、現在の図書館が市民にとって魅力的でないことが分かります。現在の図書館は入りづらく、居座りづらく、息の詰まる雰囲気があるように感じます。これからの図書館には気軽さと明るさが必要です。また、リラクゼーションスペースやゆったりした座席があると、市民がくつろげる場所として活用できるでしょう。(M氏)</p>	
2.基本理念・方針			
26	基本理念	<p>「阿南市立新図書館基本計画(案)」は、「知と人が集い輝き まちの未来を育む 創造交流拠点」という基本理念を掲げています。しかしながら、図書館は、明確に文化への深い理解を持つ人々や地域に対する支援機関であるべきであり、他の自治体でも通用するような漠然とした美辞麗句や抽象的な理念では大義が見えない。基本理念の中にこそ、「世界遺産のまち」などの「阿南らしさ」の言葉を盛り込み、強調すべきである。(E氏)</p>	<p>基本理念は本計画の方向性を示すもので、新図書館の位置づけとしている「阿南市の新たな中央図書館」「にぎわい・交流を生み出す中心施設」の目指す理念を表しています。「阿南らしさ」については多様な感じ方があることをふまえ、サービス計画・資料収集計画・施設整備計画に反映させています。</p>
27	基本方針	<p>サービス計画の基本方針について、市民からの要望を理解しやすくするため、もっとシンプルな表現にできると思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民が学びを楽しむ場を作る 読書と学びの場を広げる 市民のニーズに応える場所を提供する 市民が集う場を作る(M氏) 	<p>基本方針につきましては、シンプルであることもメリットはありますが、内容・方向性をより具体的にイメージしやすくする必要もあることから、本計画(案)に記載した表現を採用させていただきます。</p>
28	位置づけ	<p>第2章新図書館のあり方 1新図書館の位置づけ(28P)</p> <p>1阿南市の新たな中央図書館、2にぎわい・交流を生み出す中心施設、と二つに分けて記載しているが、その必要は無いと考える。2①・②に記載されている内容は、図書館施設として地域の「にぎわい・交流を生み出す」ための取組みについての記載であることから、あえて、2にぎわい・交流を生み出す中心施設として分けて記載する必要はないと考える。</p> <p>新中央図書館が整備をされ、その役割として、1①～③、2①～②という事であるから、新図書館の位置づけとして、①「市民の高度で多様な学びを支える拠点、～⑤「阿南駅周辺エリアにおける地域づくりや交流の中心」、すればよいと思うが。(R氏)</p>	<p>新図書館の位置づけについて、中央図書館として図書館の基本的なサービスの充実を図るとする位置づけと、まちづくりに貢献する施設としての位置づけを別にすることで、それぞれの活動をより具体的に示すこととしました。</p>
3.施設			
29	複合機能	<p>図書館は本を好きな方しか行かないので、興味のない人たちも集まれる複合施設を作っていたいただきたいです。上にマンションを建てるのは反対です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館を少し広くした規模の芸術ホール ・ミニシアター ・雨の日でも利用できるこどもの広場(ボールプールやテレビを置いて映画などを流す、寝転がれる空間、壁にボルダリング機能をつける等) ・外でも本が読める場所・ダンス・バスケットボールができるスポーツ施設 ・中高生の自習室(学生も集える場所が阿南にはないので、学校が違う子たちでも交流できる場所) ・スターバックス等カフェ・ロフト等雑貨店 <p>以上のようなものがあればいいなと思いました。</p> <p>他県で成功している図書館を目標に、阿南市民もそうですが、近隣市町村からもたくさん人が集える図書館建設をお願いします。(A氏)</p>	
30	複合機能	<p>コンビニ等の併設も便利だし、無料で使えるコインロッカーの設置も買い物をした後で立ち寄りやすくなり、多様なニーズに応えられる。(B氏)</p>	
31	複合機能	<p>新図書館への要望を送ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事や勉強ができるコワーキングスペース ・飲食可能なテラス席の設置(フードトラックなどが日替わりで来てほしい。 ・広いキッズスペース(カーペット・畳など) ・建物のどこかに阿南の竹(モチーフでも)を使ってほしい。 ・打ち合わせなどが出来るフリースペースの設置 <p>人が集ってくるような図書館になってほしいなと思っています。(F氏)</p>	
32	複合機能	<p>「日本一の図書館」と有名な神奈川県大和市立図書館を見学したが、素晴らしいものであった。新図書館に飲食スペースを要望する方があったが、スターバックスが図書館の中にあり落ち着いたいい施設になる一つの要因だった。しかし、飲食スペースには障がい者雇用店舗(阿南支援学校の卒業生を雇用)とし、障害をもつ児童が店舗で働きたいという目標・憧れにもなってほしい。卒業後の就職先の拡大は、保護者の切なるものだと思うので要望したい。(G氏)</p>	
33	複合機能	<p>図書館の敷地内(可能なら館内)に「蔦屋書店(大規模店舗)」の出店を誘致し、シナジー効果を狙う。蔦屋書店の出店は市民のみならず市外からの利用も期待できる。図書館と書店の共存はおもしろい試みで気になる図書を購入するチャンスも創出でき、書籍関連に触れる機会の創出にもつながる。蔦屋書店のカフェ、セレクトショップで地域の物産等を販売することで、さらにシナジーが高まる。にぎわい創出による阿南市へのお金を落とす効果は大きい。必ずしも蔦屋書店にこだわるものではないが、蔦屋書店に匹敵する営業力、集客力のあるストアとの共創が必要と考える。さらに産直(JA等)も誘致し、新鮮な地元の野菜などをバリュー感をもって購入できるとなお消費行動に広がりが見られる。(I氏)</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ゆとりのある空間、さまざまな活動のための諸室など市民の図書館へのニーズが多様化する一方、市において今後急速な人口減等も予想される中で、将来世代に過大な負担を強いられないことも、施設規模を検討する上で配慮すべき事項と考えます。</p>
34	複合機能	<p>図書館と共に学生が自習するスペースを作りたいです。図書館があまり広くなく机の数など制限されるというのであれば、図書館の一面というのではなく独立した部屋が欲しいと思います。有料で構わないと思います。また、小さい子を連れての方が利用するのであれば、コインランドリーなどあれば、待ち時間に図書館が利用できたらいいのかもと思います。(J氏)</p>	<p>いただいた新図書館複合施設の機能に関するご意見につきましては、担当部署と情報共有し、今後の具体的な施設検討の際の参考とさせていただきます。</p>
35	複合機能	<p>p42「導入諸室案」について</p> <p>「コワーキングスペース」「市民活動室」「グループ活動室」「スタジオ」「ギャラリー」は、阿南市文化会館やひまわり会館にあるのが相応しいと思います。これらの施設との住み分けをしっかりとさせていただきたいと思います。(K氏)</p>	

36	複合機能	構成員の方が「この資料に載っている事例は全て欲しいと思った。」とおっしゃっていたことに、私も同感です。他市の図書館の事例をまとめた資料を拝見しましたところ、オープンな開架閲覧スペース、スタジオリウンジ、音楽スタジオ、市民活動エリア、カフェ、アートライブラリー、セルフ貸出機など、本当に魅力的な場所がたくさんありますね。これらの設備が今の時代に求められる図書館に最低限必要なものだと感じました。なぜなら、図書館は単に本を借りる場所ではなく、人々の交流や学びの場でもあるからです。(M氏)	
37	複合機能	フリースペース、学習席(予約制)、インターネット利用席が合わせて220席という数値について、市民が満足できるかどうかについて疑問を感じます。市民からの要望では、クリエイティブな空間の確保が多く挙げられています。個人ブース、スタジオ、カフェスペース、広場など、これらの要素は今後の文化を担う図書館に欠かせないものではないでしょうか。(M氏)	
38	複合機能	市民が「個室で学習・研究・テレワーク等を行う」「個人ブース」設置は大反対です。「個人ブース」がある図書館は見たことありません。図書館は自習室ではないのです。私は反対ですが、一人しか使えない机をいっぱい置いていた荒川区立図書館もさすがに「個人ブース」はありませんでした。「個人ブース」は特定の限られた人の空間占有度が高まります。もっと露骨に言えば、空間の私物化となります。(N氏)	
39	複合機能	表3-7「グループ利用」のうち、「趣味の活動やグループで交流したい」「音楽やダンスなどの活動をしたい」以下のほとんどは、公民館等に求めるべきものです。「気兼ねなく飲食したい、会話したい」「丸1日図書館で過ごしたい」など図書館に求めるのは論外です。また「商店街と競合しない」ことを望む駅西側商店街の意向にも反します。(N氏)	
40	複合機能	カフェやコンビニが併設されている図書館も素敵だなと思います。1日ゆっくり過ごせて、本、だけではない図書館の活用方法が広がると思います。1人でのんびり、親子で楽しく、子供から高齢者まですべての世代の方が楽しめる施設になれば良いなと思います。(O氏)	
41	音のゾーニング	子どもと大人の分離は難しいが、できれば騒音のある場所と静謐の場所を分けて欲しい。(B氏)	本計画(案)39ページ「施設整備計画」の「(1)基本方針」の中で、「利用者がそのニーズに応じて静粛で集中した利用とにぎやかで気兼ねない利用どちらも可能となるよう、施設全体で音のゾーニングを設定します。」としています。いただいたご意見は今後施設の設計等の検討において参考とさせていただきます。
42	音のゾーニング	幼児・児童のスペースを分離した大和市立図書館は、音の問題を解決するものであり、その上で遊具スペースはさらにガラスで仕切られており一日遊べ、交流の機会を広げるものであり、このような作りは参考にしてほしい。(G氏)	
43	音のゾーニング	「静寂な空間と適度にぎわいのある空間等、適切な音のゾーニングがされた利用空間の提供」は徹底していただきたい。「読書に集中する個人用閲覧席」とは「個人ブース」のことでしょうか？図書館自体が「読書に集中できる」環境でなければなりません。「施設内での飲食可能なスペース」はどこに置こうとされているのでしょうか？こういうスペースが閲覧室から目や耳に入ることとはそれ自体が芸術鑑賞という「ノイズ」になり、図書館の静謐な環境とは相いれないものです。(N氏)	
44	音のゾーニング	図書館といえば静かに本を読むというイメージですが、今までの固定概念を覆すくらい居心地の良い空間を作ってほしいと思います。静かに過ごせるスペース(本を読んだり、勉強をする)の他に、小さな子供たちがのびのびと絵本を選んだり、読み聞かせも周りを気にせず出来るコーナーがあれば良いなと思います。(O氏)	
4.設備			
45	設備	阿南市立新図書館基本計画(案)の16ページで「無料Wi-Fiや持ち込んだPCなどが利用できるスペース」、「1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室」との記述がある。充電できることも便利で、それらはニーズが多いので、是非実現してほしい。(B氏)	本計画(案)39ページ「施設整備計画」の「(1)基本方針」の中で、「Wi-Fiや電源等の設備を利用者の利便性を考慮しながら配置します。」としています。
46	設備	今では図書館必須のインターネット接続(Wi-Fi)を完備、また100V電源利用できる様に(C氏)	
47	設備	計画(案)に自動貸し出し等セルフサービス環境の提供とある。貸し出し、返却、資料検索なども含め、セルフ機能により運営の効率化を徹底してほしい。(I氏)	サービス計画内に記載している「想定するサービス例」につきましては、実現に向けて今後検討を進めてまいります。
48	設備	p39 19行目「心地よく過ごせる光熱環境の整備」について具体的には、どういうことですか。全体を薄暗くして、スポットライトで読書するような空間のことでしょうか。(K氏)	図書館で必要とされる照度を確保するとともに、学習室やおはなし室などでの用途に合わせた照明等、それぞれの利用形態にそった光熱環境の整備を想定しております。
49	設備	設備だけでなく、イスやテーブルなどの備品にも注目してほしいです。図書館で長い時間を過ごす際に、快適な環境が必要です。パイプイスや木の椅子だと、長時間座って読書するのが大変です。そこで、ゆったりと座れるソファタイプの椅子をもっと増やしてほしいです。長時間座っても疲れない、質の良い椅子があれば、みんなが快適に過ごせると思います。(M氏)	本計画(案)39ページ「施設整備計画」の「(1)基本方針」では、「読書に集中できる個人用閲覧席、リラックスできるソファ席、ブラウジング時のちょっとした利用に役立つツール席等、多様な座席を確保し」として、用途に合った家具の配置を想定しています。
5.運営			
50	開館時間	市役所内の図書館カウンターは、現在開館時間が午前9時から午後6時(土日は午後5時まで)になっている。臨時的措置だが、開館時間の延長を望む声は多数だと思う。(B氏)	貴重なご意見ありがとうございます。新図書館の開館時間・休館日につきましては、施設内で複合する機能との配置状況や施設運営手法の検討を行って行く中で、いただいたご意見を参考に検討してまいります。
51	開館時間	開館時間も非常に重要です。働き世代である20-50代のうち特に男性も利用できるよう、各館を午後10時程度まで開館することが大切だと思います。これにより男性市民の利用が増えることでしょうか。(M氏)	
52	休館日	利用者の利便性を考えて、月曜日に3館同時に休館日にしないほしい。(C氏)	

53	開館時間・休館日	閉館時間を夜間とし、学校終わり、仕事終わりに寄れる営業時間とする。 例：夏期(7月～9月)は7時頃～21時頃。その他(10月～6月)は10時～20時など。 運営上、休館日を週2日程度にすることにより、図書館需要の密度が高まり、開館日の利用促進となるとともに、営業時間延長分の人件費、光熱水費等負担が軽減されると思われる。 営業時間が長くなることにより、特にこども、シニアの居場所づくりにもなり、地域の安心、安全面が高まる。また営業時間が従前より長くなることにより多様な世代の利用が見込まれ、かつ図書館の気軽さも相まって、地域の拠点施設とし交流が創出され、防災、防犯対策にも貢献できると考える。(I氏)	
54	運営	羽ノ浦図書館は所蔵図書の盗難、紛失が多い様に思う。以前県立図書館で県外の図書館から取り寄せてもらった書籍にはICタグがついていました。税金で購入した資料を大切にしてもらいたい。(C氏)	本計画(案)の「サービス計画」34ページにおいて、ICタグの導入を想定しています。羽ノ浦図書館の状況につきましては、毎年蔵書点検等を通じて資料の状況確認を行っております。お探しの資料が見当たらない場合は職員にお尋ねください。
55	運営	中央図書館の機能をもつ充実した資料はもちろんだが、たとえ複合施設のなかの一つであっても教育委員会直轄であり、行政・学校図書館との連携は保ってほしい。そして、司書資格を持つ職員の充実した研修と活躍を期待したい。(G氏)	図書館の運営につきましては、自治体が責任をもって当たることは第一義とし、今度施設の運営手法とあわせて検討を進めてまいります。学校等との連携はサービス計画で定めるとおり、新図書館が読書推進活動を支えるネットワークの拠点となり連携を進めてまいります。職員の確保につきましても、図書館サービスの維持継続が確保される体制を目指し、検討を進めてまいります。
56	運営	図書館全体の(駐車場も含めた)多様な使い方については、ワークショップでよいアイデアが多数出ており、それらも参考に検討する。駐車場を活用したフードフェスなどもよいと思う。(I氏)	
57	運営	図書館自体のネーミングライツは検討されていると思うが、各エリア、書架などにも企業からのネーミングライツを取り入れてはどうか。館内のスタジオ(○銀行スタジオ)、インターネットコーナー(△△コーナー)、絵本コーナー(□□コーナー)など、運営費用を企業からの寄付金をいかすイメージ。企業としても社会貢献活動の一環となる。地元企業ならなおさらイメージアップにつながりやすいと思われる。(I氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を、今後の検討における参考とさせていただきます。
58	運営	p34 30行目「さまざまな目的」についてここまで拡張すると、阿南市立図書館条例との整合性はとれるのでしょうか。また、ひまわり会館や阿南市文化会館との住み分けが必要になりますね。(K氏)	新図書館は、「にぎわい・交流を生み出す中心施設」として、図書館が持つ情報資源やネットワークを活用した市民活動の創出を促すことを目指しています。
59	運営	サービス計画の実現に向けた運営体制づくり(36p)最初に、「市民の知る権利を保障するため、市が責任をもって効果的かつ継続的な図書館運営をすすめます。」の言葉を追加してください。長期間にわたり継続して取り組むべき計画の実現には、市が直管で責任をもって取り組むという姿勢が計画に明示されるべきだと考えます。(R氏)	市民への図書館サービス提供につきましては、自治体が責任をもって行うことを第一義とし、サービスの維持継続が可能となる運営手法を検討してまいります。
60	運営	新図書館が開館され、仮に中央図書館として賑わいが創出されれば、されるほどその後の那賀川図書館、羽ノ浦図書館、2館をどのように運営していくのか？特色ある2館に変更されるのか？また存続危機にならないのか？の議論が進んでないことに阿南駅周辺だけの議論で良いのかと感じます。(L氏)	本計画(案)におきましては、那賀川図書館・羽ノ浦図書館は地域館と位置づけ、図書館サービスネットワークの一翼を担う拠点としています。
61	資料費	資料費についても他の市と比べて大幅に下回らないように注意が必要です。必要な図書を充実させるために、用途と市民のニーズに合った資料を十分に提供する役割を忘れてはいけません。(M氏)	サービス計画と資料収集計画の実現のため、必要な資料費についても検討してまいります。
62	職員体制	令和4年度の主なイベント・催事(表1-5)を見ると、職員主催のものがほとんどなく、児童向けのおはなしボランティア主催のものばかりであった。市民全体向けの交流イベントで職員が活躍できる体制を期待したいので、市職員の配置と研修は必須だと考える。(G氏)	
63	職員体制	(1)各サービス等に精通した人材の確保(36p) 「従来の図書館業務の枠組みにとどまらない幅広い知見や経験を有する職員の育成を長期的な視点のもとで進めます。」の意味が不明。図書館司書ではない職員という事か。同じく「ICTの活用やSNSを通じた・・・(省略)・・・職員を育成するとともに」、ここでいう職員も図書館司書ではないという事か。新図書館は、あくまで図書館である。にぎわい・交流を生み出す中心施設を整備するわけではない。あくまでその機能を図書館に持たせようとしているだけである。新中央図書館が、図書館として市民の期待に応えることができる施設でなければ、利用増は望めないし、にぎわい・交流を生み出すという役割も果たすことができない。 新中央図書館が、図書館機能を最大限発揮するためには、専門的な能力・知識を蓄積し、継承していくことができる人材確保が重要となる。その役割を果たすべき、館長や専門職員(司書)等の確保について、ここでしっかりと述べるべきである。(R氏)	図書館の専門職(司書)の配置は今後も継続しつつ、中央図書館の運営に必要なICT技術に精通した人材や、人の交流・地域資源のネットワークを推進する専門知識を有する人材も今後必要となることを踏まえ、必要な人材確保と配置、継続的な研修等の取り組みを進めてまいります。
6.サービス			
64	サービス	貸出履歴が自宅等からインターネット接続で確認できる様に(館内端末でも)(C氏)	現在ご利用いただいているホームページ内利用者メニューより確認できます。(館内端末利用者メニューからも確認できます。)
65	サービス	(大和市立図書館は)行政サービスの部屋があったことも重要なことであった。高齢者問題・福祉の相談で市役所に向くのは敷居が高いが、図書館の一面なら相談しやすくなり市民の課題解決に繋がりがやすいと感じ、新図書館に期待したい一つだ。(G氏)	貴重なご意見ありがとうございます。複合する機能の一つとして、今後の検討における参考とさせていただきます。
66	サービス	(1)図書館へ行きにくい事情(交通弱者、遠距離、身体的、営業時間)を解消していく。 ◇例1:市内各支所、公民館で予約した本を貸し出し、返却できるようにする。→交通事情の障害を一定程度緩和できる。支所等と図書館間の受け渡しについては市の負担。 ◇例2:郵送サービス(有料対応)→交通事情、身体的事情、営業時間の障害を解消。具体的にはWebから予約する際に、有料送付希望者は送料も決済する仕組みづくり。返却はポスト投函などの場合も考慮し、片道、往復選べるように設定するなど。生活困窮者向けの対策としては、一定程度の送料無料クーポンを配布することにより解決可能。Web構築、クーポン(送料分)の費用は市の負担。(I氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を今後のサービスの検討における参考とさせていただきます。

67	サービス	図書館にまちづくりの機能を持たせるために、アーバンデザインセンターの機能を持たせてはどうでしょうか。(P氏)	
68	サービス	「ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー2」の本P63より ①年金生活者対象の読書会 ②乳幼児と保護者対象の読み聞かせ会 ③地域の学童たちのための放課後宿題クラブ コミュニティのハブの役割を希望す(H氏)	
69	資料	p31 8～9行目「阿南市の…提供します。」について 「強み」より「弱み」を補強・補充させるべきと思います。阿南市は決して文化水準が高いとは思われないので、文学・哲学・歴史・音楽・演劇・芸術・美術分野を補強・補充する資料を収集し、提供する必要があると思います。(K氏)	本計画(案)37ページ「資料収集計画」において、「中央図書館として各分野の資料を幅広く収集するとともに、対象別サービスの充実につながる資料や阿南らしさの醸成につながる資料等、サービス計画の実現に資する資料を収集します。」としています。
70	資料	よく売れている本ばかりではなく、専門書の購入を。たとえば、神谷美恵子著(有斐閣)の本とか。(D氏)	
71	資料	p31 14行目「阿南高専等…専門書の提供」について 「専門書の提供」は、高専・大学図書館や企業の図書館の役割であって、公共図書館の役割ではないと思います。希望者には、阿南高専や企業と連携して提供できるシステムを構築すべきです。(K氏)	阿南高専とは現在も連携をしており、資料の相互貸借・レファレンスの協力を行っています。企業との連携については、想定するサービス例でお示しているレフェラルサービスの実施を目指します。
72	資料	(1)重点的に収集する資料(37P) 5)郷土資料等、本市にかかわる資料を可能な限り収集することは、その通り重要なことであり、最優先で実施すべきことである。その上で、郷土資料のデジタル化を図り、インターネット上で発信することを進めて欲しい。市の文化や歴史を積極的に発信することにつながる。(R氏)	郷土資料のアーカイブに関しては市史編さんに係る資料を管理している担当課と情報共有し、いただいたご意見を今後の検討における参考とさせていただきます。
73	イベント	p32 28行目「幼稚園・保育所…図書館体験ツアーの実施」について 賛成します。阿南市内全幼児・生徒が年1回は、ツアーで中央図書館を訪れ、図書館司書から講話を聞き、その機会に、利用者カードを登録し、利用体験をするようにしてはどうですか。このことが読書習慣の生成になります。(K氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考に、今後のサービスの検討における参考とさせていただきます。
74	イベント	p33 25行目「講演会…の提供」について 著名作家の講演会を実施した方がよいと思います。その著名作家の思想や作品などを通じて、読書の領域が広がっていきます。過去に故火坂雅志さん(於:那賀川図書館)や故山崎朋子さん(於:ひまわり会館)の講演会があったが、今でも印象に残っています。(K氏)	
75	郷土	p35 2)阿南らしさの溢れる場の構築 について 阿南市にゆかりのある作家などの展示コーナーを設けてはどうですか。例えば、北條民雄さん、佃實夫さん、大高翔さんです。(K氏)	
76	郷土	私が7月3日付でご意見申し上げた郷土作家に関して、まったく言及がなく残念です。郷土作家を紹介することは「阿南らしさ」のなかに含まれるのではないのでしょうか。最小限、佃實夫や北條民雄ら著名な郷土作家コーナーは設けるべきだと考えます。(N氏)	
77	資料	現在の学校教育の現状を考えると、英語力向上のためのアプローチが必要だと感じています。その一つとして、図書館で英語の本をレベル別に整理し、英語学習者が段階的な学習を進められる環境を整えることを提案します。イギリスやアメリカなどでは、英語学習者向けの児童書が読解レベル別に分類されています。これにより、自分のスキルに合った本を見つけることができ、徐々に難易度を上げながら学習することが可能です。この仕組みを活用して、我が市の図書館でも英語学習者が効果的な学習を進められる環境を準備することができると考えます。(中略)こうした洋書はページ数の少なさや内容の短さが学びやすさにつながる一方で、学びを深める場合は多くの本を取りそろえる必要があります。それは経済的に見て家計を大幅に圧迫するものであり、図書館がその提供を担うことで、市民の負担を減らすことができます。図書館を通じて手軽に教材にアクセスできることで、市民の英語力向上を支援することができます。さらに英語塾の開催や発音講座、スタディサークルの促進など、包括的な取り組みも検討できるでしょう。図書館が地域の英語教育を支える場としての役割を果たすことで、市民の英語力の向上が実現し、より多くの人々が将来に向けて準備を進めることができると信じています。(M氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考に、今後の資料収集の参考とさせていただきます。
78	資料	現在の児童書率や開架率について、市民にとって妥当な数値であるかどうかについて、確かな根拠が不足しているように感じます。アンケート調査からも、市民の多くが現行の図書館の児童書の数や開架率に不満を抱いていることが分かります。そのため、他の市との単純な比較だけでなく、阿南市独自の状況を考慮して、新たな数値を決めていただきたいと思います。(M氏)	現在の図書館の蔵書に対する市民のご不満に対しては、児童書数、開架率のいずれにおいても、蔵書規模の拡大により一定程度応えられると考えます。例えば児童書数9万冊(蔵書30万冊×30%)という規模は、全国の他自治体の中央館で見れば、東近江市立八日市図書館(約7.8万冊)、豊中市立岡町図書館(約9.5万冊)、伊万里市民図書館(約10万冊)(いずれも2021年3月時点)等、児童サービスにおいても一定の評価を得ている図書館と同等または近似しており、十分な蔵書規模と考えます。
79	ネットワーク	図書館は歩いて行ける距離にあるのがベストで、北欧の図書館はそうだと、藍住町と那賀川町の図書館を創設した元県立図書館の専門職員がその著書で述べていたことを記憶しています。(棚橋満雄「徳島県の図書館」)。この意味から、私は阿南市では各地の公民館図書室がその役割をできるだけ果たしてほしいと願っています。現状は申し訳程度の、それも古い書籍が置かれているだけで、多用途にもつぱら流用されています。ですから基本計画案に「学校・公民館等の施設や地域の読書グループ等の多様な主体と連携し、資料面での支援だけでなく、互いに情報や課題を共有しあう図書館サービスネットワークを構築」「公民館等身近な公共施設等での貸出・返却サービス提供の検討」とあるのは希望です。(N氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考に、本計画(案)32ページ「サービス計画」に挙げております「ネットワークの拠点として地域館や各関係機関と連携したサービスの充実」を目指してまいります。
80	移動図書館車	施設整備計画に移動図書館車の車庫や作業室、等の記載がない。市内の図書館ネットワークの中心としての機能を果たす新中央図書館には、移動図書館車の車庫等を設置すべきである。現在移動図書館車は那賀川図書館にて運営されているが、新中央図書館が整備されることとなれば、那賀川図書館は地域館としてその役割を果たすべきだと考える。そのためには、移動図書館車は新中央図書館に移管し、新中央図書館が移動図書館車による全域サービスに責任を持つべきである。(R氏)	本計画(案)におきましては、移動図書館車の拠点は現在の那賀川図書館として今後も運営することを前提としております。

81	ネットワーク	新中央図書館が整備された後の全域サービスは、どのような展望を持っているのか。例えば、現状の施設面で考えれば、新中央図書館・那賀川図書館・羽ノ浦図書館・移動図書館1台、阿南カウンター、という構成になるのか。それとも、阿南カウンターはなくなるのか。また、移動図書館車の巡回期間は、1ヵ月に1回と思われるが、利用者の利便性を考えれば、本館等と同じように2週間に1回が妥当だが、対応可能か。そのために必要であれば移動図書館車を増やすことも考えているか。(R氏)	本計画(案)におきましては、那賀川図書館・羽ノ浦図書館を地域館と位置づけ、移動図書館車も含め新図書館と連携して図書館サービスの充実を目指してまいります。市役所図書館カウンターにつきましては、市民の皆さまより存続を望むご意見をたくさんいただいていることをふまえて、今後検討してまいります。移動図書館車のあり方につきましても、今後取組む図書館ネットワークの構築とあわせて検討してまいります。
7.その他			
82	イベント	古い本を無償で提供するイベントが那賀川図書館で行われたが、多くの人で行けなかった。こういう本は貸出期間を例えば3ヵ月にするなど、現行の2週間から大幅に延長してはどうか。そうすれば行列に並んでも入手できないようなことはなくなる。個人に半永久的に所有させるとか、独占させるのではなく、多数の市民が一時的に共有できるようにするべきである。(B氏)	阿南市立図書館では、除籍基準に基づき蔵書の除籍を行っており、令和5年7月に開催した「本活」イベントでは、休止した阿南図書館の除籍本を提供させていただきました。
83	語句	文章全体にわたって、読点が少ないため、読みづらくなっています接続詞の後に、読点がない場合もあります。(K氏)	ご指摘ありがとうございます。該当部分を修正させていただきました。
84	語句	p4 表1-2項目欄に、「令和3年度」が2カ所あります。(K氏)	
85	語句	p7 13～14行目「また、・・・上回っています。」について「資料費」の中身・内容が解らないので、説明書きをする必要があると思います。また、趣旨がよく解りません。資料費が少なく、蔵書少ない割には、貸出冊数は多いという趣旨ですか。明確にしてはどうですか。(K氏)	ご指摘ありがとうございます。注記を追加します。「資料費」は、図書費・新聞雑誌費・視聴覚資料費等の合計となります。趣旨については、資料費は他自治体と比較して少ないため図書等の購入冊数は少なくなります。市民の図書館利用は活発であるということです。
86	語句	p33 5行目「資する」について「なるための」と表現するのが一般的ではないでしょうか。(K氏)	このままの記載とさせていただきます。ご理解をお願いします。
87	語句	p34 5行目「什器」について一般的には、よく解らないので、具体的に何のことか、書いた方がよいと思います。(K氏)	ご指摘ありがとうございます。より分かりやすくするために、「書架・家具等」に変更します。
88	語句	p41 23行目「資する」について「になる」と表現するのが、一般的ではないでしょうか。(K氏)	このままの記載とさせていただきます。ご理解をお願いします。
89	アンケート	新図書館を駅周辺まちづくりのコア機能としての導入とする想定であったアンケートの回収率32.4%は低く、具体的なものでない基本計画に意見を述べたい等の市民の関心度は低いと感じた。そのため、もう少し、各種団体の個別のヒアリングを重ねて基本計画案を策定すべきだと思う。(G氏)	アンケートの集約について、統計的には400票程度が信頼できる結果を得るために必要であり、今回はそれを上回っていることから、市民ニーズを把握する上では十分な回答数が得られたと考えます。そのうえで各種ヒアリングやワークショップを実施・開催し、また基本計画検討会議において多様な知見・背景をもつ構成員の皆様にご議論いただいたことで、市の人口構成において少数派である若い層や、普段から図書館と関わってくださっている読み聞かせボランティアの方々、また今後連携を深めるべき中心市街地の商店街の方々等、さまざまなお立場からのご意見を計画に反映できたと考えております。
90	アンケート	基本計画素案に記載されている市民からの意見集約数は約700人ぐらい市民の1%の意見が新図書館への計画素案になり、市内外から賑わいをもたらす計画の割には意見集約数が少ないのでは？もっと幅広くワークショップを開催してみたい。市南部や市西部で開催するなど、また市外(徳大、文理大、四国大など)の学生の意見や市外(地域おこし隊数名)だけでなく幅ひろく取り入れる必要があるのでは。(L氏)	
91	アンケート	アンケート調査は市民の声を反映させるために行われたものです。市民の要望を踏まえて、図書館のスペースと施設を将来に向けて余裕を持たせるのではなく、初期段階ですべて取り揃え確保させることが重要と考えています。そうした先の読めない難しい判断を市民に替わりはつきりと決めるのが市の役割であると思います。(M氏)	今後におきましても、新しい図書館の整備を進めていく中で、市民の皆さまのご意見をお聴きする場・機会の提供について積極的に取り組んでまいります。
92	アンケート	隣接する敷地にある富岡東高校との連携について、生徒へのアンケートや教育上の連携について教員へのヒアリングをしていってはどうでしょうか。(P氏)	
93	アンケート	アンケート結果の分析について・647票が母集団に対して、統計上の信頼性を確保できているのか示すべきと考えます。(P氏)	母集団の大きさに拠らず、400票程度あれば統計的に誤差±5%以下の信頼できる結果が得られるとされています。
94	アンケート	P14からのアンケート結果の分析について、単純集計しか示されていません。政策を考える上で、せめて男女別・年齢別のクロス集計を行い、それぞれの有意差をみるなどすべきではないでしょうか。女性の利用が男性よりも多い理由や、潜在的に利用したいが利用できていない層の声などを聞くことができるチャンスだと思います。統計の部分を正確に分析し、定量的な分析から最終的な結論を導き出すことが政策立案には望ましいと考えます。本来は、ワークショップや団体ヒアリングなどの定性的な分析は、話を聞いてみたら統計の通りであったというストーリーが望ましいと思いますが、統計部分の分析が不十分なものになっています。(P氏)	クロス集計で男女別に見ると、男性は女性に比べ、「市立図書館の利用頻度」について、全く利用したことがないという回答の割合が約9%高くなっています。女性の方が「来館時の主な同伴者」について「子どもと一緒に行く」を選んだ割合が約15%高いこと、「特に充実してほしい施設・設備」についても「子どもが靴を脱いで本を読めるスペース」「子どもと遊んだりできるスペース」を選んだ割合がそれぞれ男性より高いこと等を踏まえると、阿南市においては「母親が子どもの本を(子どもと一緒に)借りに行く」という利用が一定の割合を占めており、男性側の利用度が低くなっている1つの要因として、そうしたきっかけの少なさは考えられます。こうした面に関しては、SNSを通じた情報発信や成年層の関心の高い講座の開催、さまざまな企画の実施といった新たな魅力につながる取組みにより、利用のきっかけづくりを進めていくことを想定しています。また、男性は女性に比べ、「図書館の主な利用目的」として、本・新聞・雑誌の閲覧や調べものといった館内利用の割合が大きく、「今後充実してほしい資料」としては実用書、専門書、レファレンス資料等の回答の割合がやや大きくなっています。こうした館内利用自体には利用者登録が不要であることや、男性が求める上記のような資料が現在十分ではないことも、男女の有効登録率の差の要因と考えられます。こうした潜在的ニーズに対し、本計画(案)では、蔵書規模の拡大や幅広くバランスの取れた資料収集、長時間の滞在利用にも心地よさを感じられるような施設整備を掲げているところです。年代別では、「特に充実してほしい施設・設備」について、18-22歳と30～50歳代では「無料Wi-Fiや持ち込んだPCなどが利用できるスペース」、「1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室」の順に回答割合が大きくなっており、学生層や働き盛り世代における、デジタル端末を用いながら集中して勉強や仕事を行いたいというニーズの高さが見受けられます。こうしたニーズについては、利用者層を限定せず、フリースペースや学習室を設置するとともに、個人ブースやコワーキングスペースといった諸室を導入機能案として検討しているところです。
95	アンケート	(1)阿南駅周辺まちづくり基本アンケート調査結果(15P)「趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催」(29.4%)となっているが、図1-8を見ると(14.2%)の間違いはないか。(R氏)	ご指摘ありがとうございます。図1-8の表記に誤りがありましたので修正いたしました。

96	その他	私は図書館や羽ノ浦町・那賀川町で保管されている資料も含めた郷土資料館は阿南市文化会館周辺や洪水・津波の恐れがない新野地域に立てるべきだと思います。図書館と資料館が離れたところにあることは不便ですが、少なくとも資料館は文化会館周辺や新野地域に建てるべきだと思います。その際、私が7月3日付文書で要望した佃實夫らの郷土作家館を併設するののも一つの考えです。図書館分館にすれば、閲覧・貸し出しともに可能です。そうすればたぐいまれな文学館となります。(N氏)	新図書館複合施設の災害時の施設整備上の対応については、今後の具体的な施設整備検討の段階で考慮していくこととしています。郷土作家の資料を含め郷土資料については、積極的に収集し、市民の皆さまへの周知・利用に努めてまいります。
97	統計	貸出冊数と予約件数については他の市と異なる基準があることを指摘いたします。他市と1人当たりの最大数が違うため、直接比較するのは難しいはずですが、これらの数字は参考として考えておくべきです。(M氏)	貸出冊数・予約冊数についての利用規則是市町村により異なりますが、全国の図書館と比較して阿南市立図書館の現状を把握するために、日本図書館協会が毎年編集発行している「日本の図書館-統計と名簿-」に記載されている数値を用いています。
98	統計	・P7表1に関連する説明において、全ての年代で女性の有効登録率が高くなっていますが、文中に有意差の検定の結果がありませんので、統計的に正しいかどうかを読み取ることができません。検定は行っていると思いますが、行っていない場合には科学的ではなく、結論をミスリードする恐れもあるため、記載をすべきではないかと考えます。 ・表1-7に関する記述においても、他市と比べて貸出冊数、予約冊数が多いとありますが、有意差の検定を示すべきと考えます。(P氏)	年代別の登録率の大半において男女間の差が大きく、傾向を判断するうえでは十分な結果が示されていると考えます。貸出冊数・予約冊数につきましても同様です。
99	コスト	コスト面や運営方式の議論が少ないように見えます。見学された図書館も民間委託(指定管理)された図書館だからできることがたくさんあるのでは。特にICタグ等に言及がありますが、導入コスト(現在の3館の蔵書にICタグ化)やICタグ廃棄費用、自動貸出システム導入(3館導入?)などは民間委託によるコスト削減が前提にあるから導入可能なことでもあり、費用対効果が計算されますが、公的運営(市直轄)ではコストだけが上がる可能性など、コスト面で議論、図書館運営方式(民間委託)の議論やシミュレーションがなされていない状態で計画をまえに進めて良いか?と考えます。(L氏)	コスト面や運営方式の議論については、今後施設整備の具体的な検討の中で行っていくこととしています。
100	HP	新図書館はもちろん新たにHPを構築されると思うが、カスタマーが見やすく、使いやすいものとしていただきたい。※県立図書館をはじめ、現在の阿南市立図書館のWEBページは非常に少々物足りない造り。コンテンツの充実はもちろん、視認性よくビジュアルも工夫したWEBページ、もちろんスマホ対応ページも必要。できれば資料検索に資料の概要だけでなくロコミ機能があると参考にしやすい。(I氏)	貴重なご意見ありがとうございます。 阿南市立図書館ホームページは令和4年4月にリニューアルし、利用者の皆さまにできるだけ皆さんの情報を早くお届けできるよう、記事の作成に取り組んでいるところです。いただいたご意見を参考に、今後もよりよいホームページの構築を目指し検討してまいります。
101	HP	図書館のウェブサイトについて、市民として気になることがあります。このウェブサイトは2022年にリニューアルされ、一部の点では改善されましたが、まだまだ使いにくさが残っています。私たち市民が求めていることを考慮して、以下の点について改善をお願いしたいと思います。 1.レイアウトの改善 2.下層ページの統一性 3.Google社の評価に基づく改善 4.わかりやすいリンクテキスト(M氏)	
102	その他	(図書館フォーラムについて) 中井氏の意見について、一建築家の視点からの提案が多いように感じます。専門家としての意見の重要性は理解できますが、地域の声や利用者の実際のニーズについても考慮して欲しいと思います。地域ごとの傾向や住民の多様性を無視して、彼の専門知識だけに基づいて意見を述べているように思えます。また彼の意見は図書館の企画において、自身のブランディングや評判向上を考えているようにも見えます。建築やデザインの提案に力を入れている一方で、具体的なデータや裏付けを欠いており、主観的な表現が多く、納得感を持ちにくい側面があります。たとえば、「田原市中央図書館がベスト3に入る」という評価は、どのような基準や要素を考慮してのものなのかが明確ではありません。他の2館がどこの図書館かも不明です。「ハードとソフトがかみ合う」という表現も具体的な説明がなく、どのような効果があるのかが理解しにくいです。また、中井氏の意見はひとときの魅力や場面設計に焦点を当てており、時間とともに変化する要素や利用者のニーズの変化については考慮されていないように感じます。また、そうした彼の視点や評価が図書館や利用者にとってなぜ重要なかが明示されていません。一方で各地域の図書館について紹介している部分でも、市政や市議会、市民の声が反映されておらず、中井氏のフィルターを通す必要性に疑問が生じます。地域ごとの図書館に関する意見を直接聞くことの重要性や、具体的な改善点や効果についての情報が欠如しています。総じて言えば、中井氏の意見は建築家としての視点が強く、地域ニーズや図書館の実際の運営に対する考慮が足りないように思われます。地域の声や利用者のニーズを十分に集めることが図書館の企画を進めるうえで最も大切なのではないのでしょうか。 一方廣澤氏の意見は具体的な内容があり、実務に関わる視点が強調されています。図書館の目指すべき姿や外部との協力関係についての提案は、阿南市においても有益な示唆となるのではないのでしょうか。 最後に、表原市長の意見についてももう少し具体的な情報が必要ではないでしょうか。たとえば、子育て世代とはだれのことなのか、中心市街地はどこなのかを明確にいただくことで、市民が図書館のビジョンをより理解しやすくなると思います。(M氏)	貴重なご意見ありがとうございました。
8.感想			
103	要望	建設後の本の閲覧方法や希望を伝える機会をまた作ってください。(A氏)	市民の皆さまのご意見をお聴きする場・機会の提供については、今後も積極的に取り組んでまいります。
104	要望	本を読んでも読まなくても行く図書館であること。本に興味ない人たちも集まる図書館であることが大事。サービス計画(案)にあるとおり多機能を有する図書館として計画を策定していただきたい。また今回の募集広告によりさらに練られた計画(案)となることを期待している。人が集まる工夫はワークショップ、ヒアリング等で出されたアイデアも十分活用願う。(I氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考に、今後も検討してまいります。
105	感想	市役所内の図書館カウンターでは新聞とともに広告チラシを備えていて、閲覧できるのは良い。続けてほしい。(B氏)	

106	感想	ワークショップ・ヒアリングをして、多くの市民の課題とともに新図書館に対する期待を拾い上げようとするものだと感じた。それは人口同規模自治体の図書館との比較で、資料決算額が62.3%と低いのに関わらず、貸出冊数が173.4%と高く、図書館が多くの阿南市民の居場所、知的好奇心を高める施設となっていて、担当者が身近なものとして検討していることが良く分かる案であった。(G氏)	
107	感想	基本計画の趣旨について中心拠点の空洞化(線路西側)と機能低下が危惧とされておりますが、本来、線路を挟んで西側の危惧が、現在、東側の図書館を中心に進められており、西側と新図書館との連携や新図書館を建設した場合の西側への相乗効果があと回しになり、いまひとつ新図書館計画には意見が反映されていないように感じます。さらに図書館法第3条の1項から9項についての議論、あまり多くされていないことに少し違和感を感じます。新図書館を賑わいに絞り込んだ内容(複合するもの)での議論が先行し過ぎているのでは?例えば 飲食・カフェなどワークショップを見る限り、そちらへの話し合いが主たるもので本来の図書館(図書)の内容やどの分類をどのような蔵書にするか、計画の開架率で良いのかの議論が少なく感じ、肝心の本のことが置き去りにされていないか心配しています。(L氏)	阿南駅周辺のまちづくりについては、駅西側も併せて、今後も「まちづくり基本計画」の中で検討を続けてまいります。 本計画(案)では、新しい図書館は「阿南市の新たな中央図書館」として位置付けており、図書館の基本的なサービスを充実させ資料提供に尽力するとともに、「にぎわい・交流を生み出す中心施設」として、市民の皆様のニーズに寄り添い、図書館が持つ情報資源やネットワークを活用して市民活動を支援していく施設・取り組みを目指しております。
108	感想	町づくりのことになるかもしれませんが、新図書館の計画で、本当に賑わいだけの先行していないか?また新図書館だけが賑わってしまわないか?周りへの影響がどのようなものか?今一度、検討してほしいところです。(L氏)	本計画(案)におきましては、新しい図書館を「阿南市の新たな中央図書館」として位置付けており、「市民が生涯にわたり自ら学ぶことを支える」ことを方針の一つに掲げております。また、隣接するひまわり会館とも連携し、今後のエリア全体の施設運用に努めてまいります。
109	感想	新しい図書館は市民の誇りであり未来の世代に残すべき特別な場所となることを期待しています。(M氏)	
110	感想	この「基本計画」(案)を読み、那賀川と羽ノ浦の図書館を含めて市全体の図書館機能を総括・検討されていることはすばらしいと思ったのが第一印象です。(N氏)	
111	感想	図書館の価値と使命について考える中で、大切なことに気づきました。図書館は私たち市民の幸福を求める権利に対する責任を持っていると感じています。ただし、日本ではエリート教育(私塾、私学)にお金をかける一方で、公共サービスは質が低くても構わないと感じられることがあります。しかしながら図書館は「文化へのアクセスはすべての人の権利」という考えを体現できる施設です。私たちの町における図書館は、さまざまな市民にとって、学びや文化に触れる場として、価値ある提供をするべきだと考えています。(M氏)	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を参考に、今後も検討を進めてまいります。